

【講演概要】

弊社は設立当初からバイオ医薬品の研究開発に注力してきました。1990年代から抗体医薬研究に本格的に取り組むようになり、通常抗体に比べて抗体依存性細胞傷害活性（Antibody dependent cell cytotoxicity: ADCC）を100倍向上したポテリジェント技術を筆頭に、様々な抗体技術の開発に至っています。本ランチョンセミナーでは、ポテリジェント技術の発見から本技術を搭載した抗体医薬品の上市に至るまでの歴史をご紹介しますとともに、協和キリンの今後の抗体医薬研究について説明します。